

入社2年目研修① 「独り立ち」への意識転換

ねらい	入社2年目は、顧客や上司・同僚から求められる期待と、自らが貢献すべき領域を確認する時期です。本研修では、業務知識・マナー・コミュニケーション等の観点で1年間を振り返り、現在地を言語化します。その上で、上司を組織の最大のリソースと捉えて働きかける会話術を習得し、自律と自己責任の意識、前向きな思考を身に付けます。
対象	入社2年目社員
所要時間	3時間
担当講師	平野 睦

【プログラム例】

プログラム	項目	手法
1. 社会人生活の振り返り	・研修の目的設定とルール ・1年前の自分と現在の自分 ・成長した点の棚卸し ・不安・課題の共有	講義 個人ワーク ディスカッション
2. 仕事をスムーズに進める会話術	・コミュニケーションの壁 ・相手を動かす「さしすせそ」 ・上司の特性を観る／視線と御礼 ・PREP法／かくれんぼう ・上司攻略「押しポイント」分析	講義 個人ワーク 実習
3. 基本の徹底と成果を上げる仕事力	・当たり前の事を徹底する行動 ・相手にどう映っているか ・成果を上げる仕事力5要素 ・継続課題（気づきレポート）	講義 ディスカッション

※プログラムや項目は、貴社と打ち合わせしながら、変更してまいります。

入社2年目研修① 「独り立ち」への意識転換

【概要】

1	社会人生活の振り返り
■「本日終了時に何を身に付けていたいか」を最初に言語化し、曖昧な思考が曖昧な結果を生む構造を共有します。 ■ 業務知識・マナー・コミュニケーション・人間関係・モチベーションの5観点で、1年前と現在の自分を比較します。 ■ 達成できた事と、できなかった事・不安を棚卸しし、2年目に取り組む課題を明確にします。	
2	仕事をスムーズに進める会話術
■「人は話す方が楽」という原則から、相手に話させる聴き方と「さしすせそ」の承認表現を習得します。 ■ 上司を組織の最大リソースと捉え、情報の受け取り方・相談のタイミング・地雷と好物を分類する分析ワークを行います。 ■ PREP法、苦手な相手への向き合い方、忙しい相手への「かくれんぼ（確認・連絡・報告）」を整理します。	
3	基本の徹底と成果を上げる仕事力
■ 挨拶・感謝・謝罪と確認・再発防止・学ぶ姿勢という基本行動を、「相手にどう映っているか」まで意識して実践します。 ■ 目的の理解、期限の確認、役割の理解、優先順位、報連相という成果を上げる5要素を確認します。 ■ ストレスサインの記入と月次の「気づきレポート」を継続課題として設定し、研修後の行動につなげます。	

入社2年目研修② 情報共有と事例検討

ねらい	入社2年目は、指示を受けて動く立場から、自ら判断し責任を持つ「独り立ち」へ移行する時期です。本研修では、繁忙期の報連相ケーススタディを通じて、感覚的な表現を事実と数字に置き換え、結論から伝えるPREP法や譲歩を織り込んだ相談の型を習得します。さらに2年目に起こりやすい失敗事例を検討し、判断基準と相手の立場に立つ視点を養うとともに、ストレスサインへの気づきと対処法を身に付けます。
対象	入社2年目社員
所要時間	3時間
担当講師	

【プログラム例】

プログラム	項目	手法
1. 情報共有（報連相）の見直し	・報連相の意味と重要性 ・上司への報連相ケーススタディ ・PREP法／数字で伝える技術 ・譲歩を織り込んだ相談	講義 グループワーク ディスカッション
2. 2年目で起こりやすい事例検討	・独断判断による値引き対応 ・思い込みによる指示不足 ・協力会社のコスト意識 ・主観と客観／相手の立場	講義 ディスカッション
3. ストレスへの気づきと対処法	・3つのストレスサイン ・メンタルと脳のエネルギー ・睡眠の質を高める3つの方法 ・受け取り方と言葉を変える	講義 個人ワーク 実習

※プログラムや項目は、貴社と打ち合わせしながら、変更してまいります。

入社2年目研修② 情報共有と事例検討

【概要】

1	情報共有（報連相）の見直し ■ 報連相は義務であり「情報は企業の血液」。良い情報も悪い情報も正確かつタイムリーに共有する意義を確認します。 ■ 繁忙期の相談が上司に響かなかった事例を題材に、感覚的な表現が精神論を招く構造をグループワークで検証します。 ■ 事実と数字への置き換え、PREP法による結論先行、譲歩を含む相談の型を習得します。
2	2年目で起こりやすい事例検討 ■ 値引きの独断了承、思い込みによる指示不足、協力会社への安易な同行依頼など、実際に起きた3事例を検討します。 ■ 「何が問題で、どうすべきだったか」を話し合い、自分で判断してよい範囲と上司に相談すべき範囲を線引きします。 ■ 主観と客観の違いを整理し、相手の立場とコスト意識を持って判断する視点を養います。
3	ストレスへの気づきと対処法 ■ 体調・行動・心理の3つのストレスサインを整理し、自身の傾向を書き出して早期発見・早期対応につなげます。 ■ メンタル低下を「電池切れ」と捉え、朝の太陽光・腹式呼吸・笑顔による睡眠の質の高め方を実践します。 ■ 出来事の受け取り方と使う言葉を変える手法を学び、継続課題「気づきレポート」につなげます。